



平成30年度 帯広市立帯広第八中学校経営方針

北海道教育の基本理念

「自立 共生」

十勝管内教育推進の重点

- ・確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成
- ・家庭や地域の協力を得た十勝らしい教育の充実

学校の教育目標

- さわやかな生き方を育てる
- 賢く考える力を育てる
- 豊かな心を育てる
- 健やかな身体を育てる

夢と希望・自己実現・
人や社会への貢献

(知) 確かな学力・応用する力
(徳) 思いやりを思慮深さ
(体) 自ら心身を気遣い鍛え

校訓 友情・知性・感動

帯広市教育基本計画の理念

ふるさとの風土に学び
人がきらめき 人がつながる
おびひろの教育

帯広市教育の基本目標

帯広の明日を創る
児童生徒を育む
～知・徳・体の調和の
とれた学校教育の推進～

目指す学校像・生徒像

さわやかスクール “さわやか八中 夢楽校”

- ・明るくさわやかな生徒
- ・人と環境に優しい学校
- ・さわやかに対応する教職員
- ・夢と可能性を育む学校
- ・何事にも頑張る八中生

- *さ 颯爽とした振る舞いができる人
- *わ わかりやすく伝えることができる人
- *や 優しさが伝わる丁寧な対応ができる人
- *か 感謝の気持ちを素直に表現できる人

(町内会・福祉施設・各種ボランティア団体)

地域との連携

(若葉・明和小、幼稚園・保育所、児童保育センター)

エリアファミリー

【教育活動の具体的方針】

「明るく 前向きに 努力する生徒の育成」
～ 子どもも保護者も教師も確かな成長の実感 ～

【実践目標】

すべては子どもたちのために
師弟同汗
～生徒と先生が、先生同士が、
保護者・地域と学校が～

本年度の経営の重点

1 賢く考える力を育てる ための方策

- ・基礎・基本の確実な定着と自ら学び考え表現できる力など確かな学力の育成
- ・多様な指導方法と学習形態の工夫（主体的・対話的で深い学びの実践・授業改善）
- ・家庭学習の習慣化（正しい生活習慣）
- ・生徒や保護者にわかる評価・評定
- ・通常学級と特別支援学級との交流学习を積極的な推進
- ・特別に支援を必要とする生徒の個別の指導計画・支援計画の作成と活用等、個々の学習課題に応じた指導の充実

2 豊かな心を育てる ための方策

- ・共感的理解に基づく相談・援助、指導体制の充実
- ・「報・連・相」の体制のもとでの心に寄り添う指導
- ・特別の教科 道徳へのスムーズな移行（授業実践、指導計画の作成、評価の研究）
- ・積極的な外部講師の活用
- ・キャリア教育の充実
- ・校舎内の清掃（つく指導）の徹底

3 健やかな身体を育てる ための方策

- ・健やかな体づくりや体育活動の充実
- ・薬物、性、食、SNS等に関する安全指導の徹底

4 組織体としての学校運営の推進

- ・校務運営委員会を中心とした機動力ある組織運営
- ・危機管理体制の整備（服務規律の遵守も含む）
- ・当たり前のことが当たり前に行える職場
- ・PDCAサイクルによる学校改善
- ・地域に開かれた学校
- ・「つく指導」等積極的な見取りと「予防指導体制」の確立
- ・エリアファミリー、地域の人材・施設活用など、地域との連携強化
- ・教職員の服務の厳正、KTSB（交通違反・体罰・セクシャルハラスメント・暴言）の撲滅

保護者の願い

（平成29年度学校評価保護者アンケートより～4段階評価で、4.そう思うと3.ややそう思うの総数で、比較的数値が低い項目）

- ▶ お子さんは基本を習得し、生きる力としての応用力が身につけてきている。(75.9%)
- ▶ ご家庭ではお子さんに学習習慣や正しい生活習慣を確立できていると思う。(68.4%)